

公益社団法人日本建築積算協会北海道支部 2024年度 定時総会報告

新型コロナウイルス感染症が5類になり以前の日常生活が取り戻される中、協会本部から生島副会長にご出席いただき、Web配信を併用して、今年度の定時総会を開催しました。また定時総会に続き、支部で2回目の試みとなる、賛助会員を講師とした技術発表会を行いました。

〔 日時 : 令和6年(2024年)4月17日(水) 16時~16時50分
場所 : ホテル札幌ガーデンパレス 2階 白鳥 〕

[総会司会 / 副支部長 前村 悟]

1 支部長挨拶 / 支部長 東 伊佐緒

- ・ 会員サービスとして昨年10月に道庁赤れんが庁舎の現場見学会を開催、11月に会員交流の場としてボウリング大会開催、そのあとの懇親会どちらも好評で、有意義な交流ができた。今年は6月に現場見学会を開催する予定なのでぜひ参加いただきたい。
- ・ 協会のPR活動の一環であるペリカン活動も再開、昨年は建築積算士補認定校6校を訪問し、現場での実情や意見を聞いた。特に道立工業高校はカリキュラムによる制限がある中、放課後を利用するなど学校独自で計画し実行されていた。ご担当の先生方もとてもご苦労されておられると見受けたので協会としてもできる限り協力し負担を軽減することが必要と思う。
- ・ 評価評定相談事業も1件ではあるが実施することができた。公益法人活動の一環として、コストに関する相談に第三者として対応してまいりたいが、まだ一般には広く知られていないことから、ペリカン活動と連携して認知度向上に努めたい。
- ・ 人材育成では若手建築技術者育成のための講習会を行っており、昨年は旭川の企業から依頼され訪問講習を行った。今年は2021、2022年に行ったウェブ講習を編集しなおした動画をもとに講習会を行う予定。さらに対面式のメリットも取り入れて柔軟に対応していきたい。
- ・ 建設業界は慢性の人手不足や働き方改革、建築材料費の高騰などいくつもの課題を抱えており、協会としてもこれらの解決に貢献できるよう微力ではあるが事業に取り組んでまいりたい。
- ・ 来年は協会本部創立50周年を迎える。北海道支部も一緒になってイベント等を企画してまいりたい。

2 本部副会長挨拶 / 副会長 生島 宣幸

- ・ 協会本部の最近のトピックを2つほどご紹介する。
- ・ 一つ目は今月(令和6年4月)初旬に発刊した「新☆建築積算士ガイドブック」。木造・BIM・改修・解体などの内容を大幅に追加した。ぜひ購入いただき中味を確認されたい。合わせて5月下旬に内容に関する講習会を開催するのでご参加を。
- ・ 二つ目は、来年7月18日明治記念館で協会50周年の記念大会を開催すること。現在中味を詰めているところだが、支部も参画できる内容を作ろうと思っているのでご協力願いたい。
- ・ 最後に、協会ホームページに協賛金・寄付金のご案内を掲載しているのでご協力をお願いしたい。

3 総会成立報告 / 総務財務副委員長 伊成 哲雄

本人出席29名、委任状提出92名、計121名で、正会員174名の過半以上を満たし成立。

4 議長選出

鈴木民夫副支部長を議長に選出。

5 議案

- (1) 第1号議案 2023年度事業報告承認の件 / 副支部長 石川 全宏
- (2) 第2号議案 2023年度収支決算報告承認の件 / 副支部長 石川 全宏
監事 高橋ひろ子氏による監査報告に関する説明に対し、拍手により承認された。

6 報告事項

- (1) 報告事項1 2024年度事業計画に関する件 / 副支部長 石川 全宏
- (2) 報告事項2 2024年度予算に関する件 / 副支部長 石川 全宏
説明に対し「特になし」の発声あり。

□ 定時総会の模様



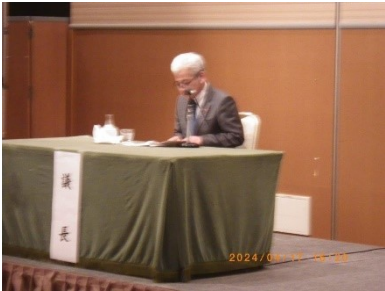
東支部長 挨拶



生島副会長 挨拶



会場風景



議長選出



議案説明



監査報告

[参 考]

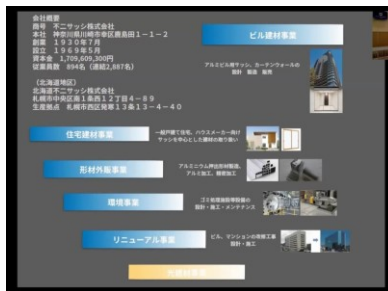
総会に引き続き開催した「技術発表会」、「意見交換会」の様子は次のとおりです。

■ 技術発表会

日 時 : 令和6年(2024年)4月17日(水) 17時~17時40分
 場 所 : ホテル札幌ガーデンパレス 2階 白鳥
 演 題 : 間接照明新工法について
 講 師 : 不二サッシ株式会社 光建材事業部 鈴木義之氏

※ 技術発表会の内容はこちらから視聴できます。↓→

<https://youtu.be/gcvSiec-Kbk>



■ 意見交換会

日 時 : 令和6年(2024年)4月17日(水) 18時~19時30分
 場 所 : ホテル札幌ガーデンパレス 2階 丹頂
 出席数 : 来賓12名、会員等30名

